



——日本の環境の違いに戸惑ったことありませんでしたか？

るレベルは、正直日本と雲泥の差でした。そもそも彼らは、日本のような丁寧な仕上げをあまり目にしたことがなかったのです。そのため、私が思う「綺麗に仕上げ」るイメージとの乖離が起きてしまう。そんな職人たちの意識を切り替えるのに、2〜3年はかかりましたね。  
ただ、幸いにも私は手本を見せることができた。正しい方法を教えれば、早くて1か月ほど変わる子もいましたよ。手が離れると元に戻ってしまうのが多いですが、こうして技術力を向上させていくに従い、様々な企業から声がかかるようになったのです。

食事については、カレーが主体になるのは仕方がないとはいえ、さすがに飽きるときもありましたね(笑)。3食カレー味の日も普通ですから。宗教の問題もあり、肉といえば鶏肉かヤギ肉でした。カレーに入れられる食材は、季節ごとに豆が変わるんですよ。現場では、毎回大き



あ お き と し や  
**青木 俊也**  
工事部

——そのほか、インドの文化で驚いたことや苦労したことはありますか？

な鍋に入れられたカレーが5種類ほど配達されてきます。それを取り分ける係の人が「今はこの野菜がおいしいんだ」と教えてくれるのです。正直どれもカレー味でしたので、細かい違いは私にはわかりませんでした(笑)。ただ、なんだからなんでも私は現地の食事に抵抗がなかったもので、長期滞在できたのだと感じています。

これも文化の違いだと思うのですが、インドの人たちの多くは、特にベンガルルール(バンガロール)に出稼ぎに来ている人は気軽にゴミを道端に捨てる習慣があります。それは現場でも同じ。放置しておけばゴミだらけになってしまいます。そこで掃除をお願いするのですが、すでに廃止になっているカースト制度の名残から、自分よりカーストの低い人に仕事をさせてしまう職人もいました。ただ、少なくともこの現場では、カースト制度の名残など関係ありません。こちらが定めたルールや入社順による先輩後輩の関係というのを大切にしながら、先輩の指導しました。給料査定でも一番重視していたのは「自ら進んで掃除をするかどうか」ということ。積極的に現

場を綺麗にした人には、高得点を付与し、昇進や昇給に還元しました。

もう一つ驚いたのは、言語の多様性です。インドで話される言葉は百種類以上あるらしく、地方によっては現地語以外わからないという人も。そのため、全体会合のときなどは、ある程度言語に精通している人に頼んで、いくつかの地方の言葉に直して何度も同じ内容を話してもらいました。

残念ながら、会社は設立から4年後に閉鎖が決まってしまい、その後はフジタ建設の仕事をするためにニューデリーへ。ただ、実はちょうど閉鎖が決まったタイミングで多くの企業から仕事の依頼が入ってきたんです。仕方なく全て断りましたが、惜しいことをしました。ビジネスの難しさを痛感しましたね。

——2020年1月に帰国され、現在は大学の建築に携わっている青木さんですが、日本での目標や意気込みについてお聞かせください。

今は外国人技能実習生の子どもたちがたくさん入ってきて、とても助かっています。しかし、やはり言葉の壁を完璧に乗り越えるのは難しいことでしょう。インドでは、常に簡単な言葉に置き換えて説明するようにしてきました。同じようにベトナムの子たちにも、我々日本人の社

## 帰

国子女で英語が堪能な工事部の青木俊也さんは、配管工の経験を生かし、2014年6月、高砂熱学工業の紹介で南インドのベンガルール(バンガロール)に赴任し、およそ6年間、現地の職人たちの教育やマネジメントに従事してきました。今回は、そんな青木さんにインドでの生活やお仕事の思い出についてお話を伺います。

——現地でのお仕事で大変だったことは何ですか？

最初の4年間は、高砂熱学工業さんのお仕事として、配管やダクト、内装や電気の仕事で現地の職人を行いました。多いときには800人近い人数がいましたね。そのほとんどが20代。大半が出稼ぎに来ていた者でした。そういった職人たちの全体の管理や、教育が私の役目でもありました。大変だったのは、職人としてのレベルを上げること。綺麗に仕上げ



員の方が寄り添い、丁寧なやり取りを教えることが大切です。再び日本に来るとき、「ここで働きたい」と感じてもらえるよう、サポートしていこうと思います。

文化も環境も異なるインドの地で、日本人の職人としての誇りを胸に奮闘してきた青木さん。その経験は、株式会社藤栄設備に新たな風を起こしてくれられるかもしれません。



### 企業情報

設立年：平成6年5月27日  
年商：3.6億円  
従業員数：27名  
(従業員19名、建設就労者2名、実習生6名)

※2019年3月時点



# \気を付けよう！/ コロナ事例共有



なかなか終息の目処が立たない新型コロナウイルス。  
今回は村田課長に  
実際に感染者が出た現場の対応、対策について  
お話を伺いました！

## 現場で 新型コロナウイルス感染者

緊急事態宣言が発令される前の4月下旬、現場の作業員に1名感染者が出ました。そのため、LDSの現場は2週間止める運びに。しかし、私たちは濃厚接触者に該当しなかったため、それぞれ別の現場で業務に取り組むことになりました。



## その後の対策

感染者数が日本国内でも収まらない中、現場では2つの対策がとられました。

1つ目は**休憩所の利用時間を分けて、人数を減らす**ことです。今までは、100名で1個の休憩所を使っていましたが、時間差を取り入れるようになりました。

2つ目は**休憩所で向かい合わせに座る席の真ん中にシールドが用意**されました。

また、5月から現場に入る前は全員体温チェックをしています。現場は、沢山の人が携わっているため、対策が難しい面が多くあります。それぞれが基本的な手洗いうがいを徹底し、感染のリスクを下げられるようにしています。

## LDSの現場について

今回は宗教の現場なので、特殊なルールがいくつかあります。例えば、お酒やタバコの持ち込み禁止、休憩所以外の飲食不可、等がありました。夏場は水分補給が大切になってくれるので、1時間に1回、5分程度の休憩を取って取り組んでいました。また空調服を着て熱中対策をし、7月から空調が効くようになったので無事乗り越えられました。



## 一緒に働いていたメンバー



### 実習生のファンアン アインさん

8月に一時帰国する予定がありましたが、帰国することができず、日本で頑張っていました。任せられることも増え、期待の実習生です。

# ベトナム人実習生紹介！～1期生～

今回は、グエンヒューヒューさんとドヴァンティエンさんにインタビュー。  
日本で5年働いているからこそ感じる日本とベトナムの違いなど、  
様々な質問にお答えいただきました！



## グエンヒューヒューさん

### 日本とベトナムの違い

ベトナムと異なり、日本にはルールを守る文化があります。

### 初めて覚えた日本語

初めて覚え方日本語は忘れてしまいましたが、よく使う日本語は「ありがとう」「ごめん」です。

### 楽しい、面白いと思う瞬間

いつも楽しく仕事に取り組んでいます。



## ドヴァンティエンさん

### 日本とベトナムの違い

日本は安全で、スーパーが沢山あるなど、生活が便利です。日本の快適な気候にも慣れ、今では夏のベトナムに戻ると熱中症になってしまいました。

### 楽しい、面白いと思う瞬間

忘れてしまいました……。

### 目標、意気込み

ルールを守るという点で、働き方が変わったと思います。事故なく安全に働くためルールを守ろうとする日本の意識は、ベトナムとの違いでもあります。

## 深掘！一問一答



どちらも好きです！

好きな仕事は、**躯体工事 or 内装工事**

内装工事の方が好きです。理由は、室内での作業という点もありますが、墨出しができるからです。



ボード開口は汚れやすいため、墨出しの方が好きです。

好きな仕事は、**墨出し or ボード開口**

墨出しです！



残業は好きです。稼いだお金はベトナムの家族に送っていますが、休日は買い物に出かけることも多くあります。普段からベトナム料理を作っているため、その食材を買っています。

残業好き or 嫌い

残業は好きです。稼いだお金は、ベトナムに送ったり自分に使ったりします。焼き肉が好きなので、休日に食べに行くこともあります。



高所作業も得意です。

高所作業が  
好き or 嫌い

実は、あまり得意ではありません。



スピードを重視するより、丁寧にじっくり仕事を進めるタイプです。

仕事はスピード重視  
or 丁寧にじっくり

仕事は丁寧にやるタイプです。



皆しい方ばかりなので、チームでやる方が好きです。

仕事は個人 or チーム

皆で協力し合えるチームの方が好きです。



11月の  
誕生日社員

# Happy Birthday

11月の誕生日の方です！  
おめでとうございます！

11月5日 木林 壘さん